

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表 令和 6年 5月 23日		事業所 ハッピーキッズ野田キッカーズ					
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	0	教室、運動場などで遊べる部屋を用意していたが、小さいお子様の利用者も増え新たにキッズルームを作り、低学年から高学年まで楽しんで遊べるように工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	0	2	4	人員配置は満たしているが、送迎に関しては職員数に余裕がなく、常にピストン運行している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	6	0	サッカー療育をするに当たって、壁や柱の角などの危険箇所は怪我のないようにカバーなどをして安心して楽しめる環境作りを目指している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	0	各取り組みに担当者を設け、職員が産出しやすい様に工夫している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	0	6		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	令和6年5月にグループのHPが完成後公開予定。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	0	当事務所外の顧問に毎月事務報告を行い評価して頂いている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0	6	0	虐待・身体拘束、その他資質向上に該当する研修には積極的に参加するように努めている 参加可能な研修があれば参加できるように配慮してくださっている	
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	半年に一度保護者と個別に面談を実施して、半年間で成長した点、課題が出た点を説明をして一緒に今後の支援方針を決定している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	社員ミーティング時に活動内容について検討している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	サッカー療育以外にも英語レッスンを取り入れたり、体幹トレーニングが出来るように外遊びの器具を充実させている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	休日、長期休暇などはお出かけイベントを企画して、実際に自分の目や耳で五感を使って確かめてもらい、体験を通して新たな目標を持ち、集団行動、公共のマナーを身に付けてもらい、普段教室で体験出来ないことを学んでもらっている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	3	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	4	0	支援開始前に必ず行う事が出来ない場合がある為、当日に口頭で確認する以外に職員間で情報を共有出来る様に引継ぎノートを利用する場合がある	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	1	多くの時間は取れていないが、その日にあった問題点、課題などがあれば職員同士で共有できる時間を設けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	0	6	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	保護者との個別面談終了後、職員皆で話し合った内容を共有して全員で同じ方向で支援できるようにしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	0	6	0	5領域に沿った支援が出来るように、サッカー療育だけではなく他の分野でも支援できるように見直しをしている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0	6	0	下校時刻の変更などがあり、送迎に間に合わない場合は利用者が不安にならないように学校へ連絡をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	0	実績無し 必要に応じて対応していきたい	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	6	0	実績無し 必要に応じて対応していきたい	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	0	6	該当する事例がない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	0	土曜日、祝日などは積極的に児童館を含め外に外出をして交流の場を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	0	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	0	6	0	送迎時にその日の活動内容を伝えている、時間が十分に取れない時は連絡帳に記入して保護者様がその日の出来事が把握出来るように細かく記入するようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	6	0	個人面談で必要な場合にはお話しさせて頂く程度	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	0	6	0	契約をする際にひと通り説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3	0	個人面談の際に保護者様から要望を聞き、個別のプログラムを作成することもある。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	3	サッカーのイベントを開催をし、子供、利用者が一緒に参加出来る場を年に2回程設けている。子供たちからはお出かけイベントの要望が多く、イベントはお出かけイベントが中心になっている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	苦情があった際は、管理者に情報が上がってくるように整備している。その後は管理者が保護者に対応をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	毎月会報を作成し保護者に配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	ブログやSNS関係は個人が特定されないように十分に留意している。 個人情報のファイルは鍵付きのロッカーにて保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	0	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	6	地域を巻き込んだの行事などはしていない。個人情報もあり今後も計画をしていない。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	0	6	マニュアル等は策定してあるが、保護者に配布はしていない。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	3	3	8 同上	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	0	8 同上	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	6	0	該当するお子様の保護者に対して事前に説明して個別支援計画書に記載	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	アレルギー持ちの利用者が来所する際は、該当するお子様専用のおやつを用意し提供している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	3	3		